| 学校番号 | １０９ |
|---|---|

# 令和２年度　国語科

| 教科 | 国語科 | 科目 | 古典Ｂ | 単位数 | ２ | 年次 | ２ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「古典Ｂ」（教育出版） | | | | | | |
| 副教材等 | 「古典文法」（京都書房）・「解法古文単語３５０」（数研出版）・「新明説漢文」（尚文出版）・「国語便覧」（数研出版） | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ

・１年次に学習した文法を再確認しながら、より高度な文章を読解する力を身につけましょう。
・日々の授業内で古文単語の小テストを行います。基本的な知識を身につけましょう。
・予習復習を徹底し、学習した語彙や文法を定着させましょう。

## ２　学習の到達目標

古典としての古文・漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。
古文や漢文を自分自身で読み、理解する力を育てる。
進路実現のための古典の学力を育てる。

## ３　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b：話す聞く能力 | c：書く能力 | d:読む能力 | e:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 古典を読む力を高め、作品の価値について自ら考察するとともに、我が国の文化の特質や中国の文化との関係ついて理解を深めようとする。 | | | 古典を読んで、内容及び思想や感情を、構成や展開に即して的確に捉え、ものの見方・感じ方・考え方を豊かにしようとする。 | 古典の理解に役立てるため、語句の意味、用法、文の構造、文法、音声、表記等を理解し、知識を身に付けている。 |
| 主たる評価方法 | 行動の観察<br>記述の点検<br>（ノート、ワークシート等） | | | 記述の確認及び分析（ワークシート・読書ノート）<br>定期考査 | 行動の観察<br>記述の確認<br>（ノート、ワークシート等）<br>定期考査<br>小テスト |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | e | | |
| 1学期 | 古文 | 「成方と名笛」<br>『枕草子』<br>『伊勢物語』 | ○ | | | ○ | ◎ | a 積極的に予習をし、大まかな話を理解しようとしている。<br>d 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動とその理由を読み取ることができる。<br>e 既習の助動詞についての知識を活用した口語訳ができる。 | a 発問<br>d 発問<br>d 定期考査<br>e 定期考査<br>e ノート提出 |
| | 漢文 | 「画竜点睛」<br>「王昭君」<br>「江南橘為江北枳」 | ○ | | | ○ | ◎ | a 故事に見られる価値観と現代の価値観を対応させ考えようとしている。<br>d 故事や寓話にこめられた古代中国人のものの見方・考え方を読み取ることができる。<br>d 故事の内容と自分の経験を対比して、登場人物の行動理由を理解できる。<br>e 再読文字・使役形・受身形・抑揚形などの句形の読みと意味とについて理解し、それに即した口語訳ができる。 | a 発問<br>d 発問<br>d 定期考査<br>e 定期考査<br>e ノート提出 |
| 2学期 | 古文 | 『更級日記』<br>『大鏡』 | ○ | | | ◎ | ○ | a 歴史的事実と歴史叙述との違いを考え、『大鏡』の特性について理解しようとしている。<br>d『大鏡』作者の考えについて、登場人物の台詞を通して読み取ることができる。<br>e 敬語について敬意の対象を理解し、正しく口語訳することができる。 | a 課題提出<br>d 発問評価<br>d 定期考査<br>e 定期考査 |
| | 漢文 | 『史記』 | ○ | | | ◎ | ○ | a 歴史的事実と歴史叙述との違いを考え、『史記』の特性について理解しようとしている。<br>d 話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み取る。<br>d 登場人物の心情の変化を文章、詩から読み取ることができる。<br>e 句形の意味に即して正確な口語訳ができる。<br>e『史記』と作者司馬遷についての文学史的知識を身につける。 | ・a 授業態度<br>・a 課題提出<br>・d 定期考査<br>・e 定期考査 |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3学期 | 古文 | 『源氏物語』 | ○ | | | ◎ | ○ | a 人間関係を把握して、ストーリーを読もうとしている。<br>a 平安時代の人々の価値観と現代の自分たちの価値観を対比して考えようとしている。<br>d 文章の内容から人間関係を把握できる。<br>d 文章の内容について、時系列にまとめることができる。<br>e 二方向の敬語について理解し正確な口語訳ができる。 | ・a 授業態度<br>・a 課題提出<br>・d 発問評価<br>・e 定期考査<br>・e ノート提出 |
| | 漢文 | 思想<br>(『荀子』『老子』『荘子』『韓非子』) | ◎ | | | ○ | ○ | a 儒家や道家、法家の思想に興味を持ち、自分たちの価値観にどのような影響を与えているか考えようとしている。<br>d 文章中に表されている価値観について分析し、自分の考えと比較することができる。<br>e 句形の意味に即して口語訳ができる。<br>e 諸子百家についての文学史的知識を理解している。 | ・a 授業態度<br>・d 課題の提出<br>・e 定期考査<br>・e ノート提出 |

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:話す・聞く能力 c:書く能力
d:読む能力 e:知識・理解

※ 評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域(「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」)に関わる観点には◎を付している。